

# モンゴリアンクラブ

No.45 2026/3/1

発行：鳥取県モンゴル  
中央県親善協会

## 日本語学級の子ども達 元気です！

日本語学級は、毎週 4 日程度開設しています。毎日20～30人が通っています。日本語検定 4 級から 3 級、2 級とレベルアップを目指して仲間同士で切磋琢磨しています。待ちに待った JICA 青年が 3 月から学級活動に参加してくれるようになりました。



左 JICA 青年とオトゴ先生

上 日本語学級生とオトゴ先生

2025 年 12 月に日本語検定試験がウランバートルで開かれ、日本語学級からたくさんの生徒がチャレンジしました。

N5(日常のあいさつなど最低限の会話レベル) 7人受験 3人合格

N4 7人受験 5人合格、 N3 3人受験1人合格

N2(留学レベル) 1人受験(力およばず)

今回、N3に合格したバトツェツェグさん(写真右)に学習の様子をたずねたところ「漢字と語彙が難しい。日本語学級の友達と言葉を言い合って一緒に覚えた。今年の7月にはN2に挑戦したい。」と話してくれました。



令和 8 年度 (2026 年) 鳥取県モンゴル中央県青少年交流事業  
2026 年 6 月 23 日(火)～7 月 8 日(水)受け入れ予定

## 鳥取の夜に馬が草原を駆ける音色が響きました



大阪国際室内楽フェスタ2023でメニューイン金賞に輝いたモンゴル伝統楽団「テングエル・アヤルゲー」。

この日本ツアー「グランプリ・コンサート2025」の鳥取公演が11月13日(木)に鳥取市民会館で行われました。

国際的に高い評価を受けている楽団で、久々の日本公演でした。

馬頭琴、横笛のリンベ、ヨーチン(揚琴)、牛の角笛エベルブレイ、コントラバスに似たバス馬頭琴と共に、同時に二つの声で歌うホーミーや長唄を交えた演奏。

モンゴルの草原、砂漠、湖、山々などの風景を彷彿とさせる素晴らし演奏は、聴取を魅了しました。

## 友好交流の翼写真展開催



とりぎん文化会館フリースペース

10月15日～18日とりぎん文化会館

10月25日～31日夢みなとタワー

11月 3日 米子市文化ホール

米子市立文化ホールの

よなご国際交流フェスティバル「モンゴルブース」



デールの試着や  
クイズも人気

## 元寇沈没船の松浦市から視察・研修

令和8年1月、長崎県松浦市からモンゴルとの友好交流事業推進のため、2名が視察・研修に鳥取県庁及び豊岡市にある日本・モンゴル民族博物館を訪問されました。松浦市政策企画課企画統計係長堤 愛子氏と同課国際交流員のムンフバヤル・サランゲレル氏です。

松浦市は、人口約2万人、県北部の伊万里湾に面しています。農業と漁業が盛んで、特にアジの水揚げ量は日本で、「アジフライの聖地」を宣言し、アジを使った料理が人気。

伊万里湾に浮かぶ鷹島周辺の海底に沈んでいる元寇時の沈没船が発見されており、これを活かしてモンゴルとの交流を事業化・活性化したいとのこと。

2人は14日の午後、県庁交流推進課で鳥取県とモンゴル中央県との交流の歴史や事業の内容を研修されました。その中で、具体的な交流を行うに当たっては、民間レベルの交流活動団体が不可欠であり、当協会事業についても説明があったとのこと。

この視察研修により、民間の活動実施団体を立ち上げ、活動を定着させることの必要性和難しさを感じられたとのこと。当事務局に対し、今後いろいろな支援・指導をお願いしたいとの依頼がありました。

翌15日に視察された日本・モンゴル民族博物館は、元駐モンゴル日本大使館職員が合併前の但東町長のモンゴルへの情熱感動し、個人で収集した1万点に及ぶ品々を但東町へ寄贈されたとのこと。

(理事 宮本晶夫氏 記)



長崎県観光連盟 長崎県文化観光国際部観光振興課 HP から転載



日本・モンゴル民族博物館の前で  
左 サランゲレル国際交流員・右 堤係長

## モンゴル抑留経験者 西原さん の残したもの

モンゴリアンクラブNo.43 号で紹介した日本海新聞記事  
「モンゴル図書館レンガ壁に眠る万葉集」

この記事を投稿した西原明治(あけはる)さんは帰還して県職員となり、退職後すぐに、「抑留万里～或る下士官の手記～」(写真右)を自費出版されていました。

倉吉市谷地区の西原さんのご自宅を当協会の河崎真理子さんが訪ねたところ、空き家になっており、近隣の方の話から西原さんは既に亡くなっておられることが分かりました。

谷地区公民館長に事情を尋ねることに。

驚いたことに、近隣の方も明里利彦館長も西原さんが抑留経験者であることや自費出版のことを全くご存じではありませんでした。

後日、公民館長が県外に住むご長男に連絡を取り、事情を話されたところ、ご長男も全くご存じなく、当協会ホームページでモンゴリアンクラブを読まれ、父親の語らなかつた一面を知り、大変感激されたと連絡がありました。

この本は鳥取市立図書館、倉吉市立図書館、米子市立図書館に保管されており、貸し出し禁止の館もあります

館内で読むことができます。

本の写真は、明里館長からご長男に了解を得ていただき掲載しました。



## モンゴル物価事情



鳥取県国際交流員  
ビャンバジャルガルさん

モンゴルでは近年、深刻なインフレが続いています。県国際交流員ビャンバジャルガルさんに聞きました。

帰省した時の楽しみは遊牧民が作った乳製品。これが高騰。遊牧民の減少で生産量減少に加え、物価高騰のため、値上げをしないと利益が出ないためとのことです。

2025年10月に教員のストライキがありました。これも物価高騰に応じた給与賃上げを要求するものとのこと。

モンゴルの経済事情に大きな変化が起きているようです。

2026年度鳥取県モンゴル中央県親善協会総会

日時:2026年4月18日(土) 12時～ 昼食・交流  
13時30分～ 総会